

# 広島 ゆかりの アニメーション

ひろしま国際平和文化祭応援文化イベント

2021年8月27日(金)～29日(日)



## アマイとサダコの祈り

主催／NPO法人広島アニメーションシティ、広島市映像文化ライブラリー

広島とアニメーションとの関わりを再発見し、アニメーションを広島の新しい都市文化の一つとして捉え直す機会となるよう、被爆体験をテーマにしたアニメーション、広島在住のアニメーション作家の作品など、広島ゆかりのアニメーションを特集します。

■ 8/27(金)「キドモドキ」「はだしのゲン2」

■ 8/28(土)「太陽をなくした日」「クロがいた夏」

■ 8/29(日)「アマイとサダコの祈り」「かっ飛ばせ!ドリーマーズ カーブ誕生物語」

広島市映像文化ライブラリー

広島市中区基町3-1 TEL082-223-3525 <http://www.cf.city.hiroshima.jp/eizou/>

■開館時間:火～土曜日 午前10時～午後8時(日曜日、祝日、8月6日は午後5時まで) ■休館日:月曜日(8月6日と祝日は開館)、祝日の振替日、12月29日～1月4日

# 広島 ひろしま国際平和文化祭応援文化イベント ゆかりのアニメーション



主催/NPO法人広島アニメーションシティ、広島市映像文化ライブラリー

■8/27(金)

①10:30～ ②14:00～ ③18:00～ (2作品・91分)

鑑賞料/大人510円、シニア(65歳以上)250円、高校生250円、小・中学生無料

## キドモドキ

2013(平成25)年 5分 カラー Blu-ray

監督/宮崎しずか(広島在住アニメーション作家)

まわりの環境にあわせて姿形を変えるキドモドキが街に出没する。人物を1コマずつ撮影するピクシレーションの技法で、不思議な時空間を描き出す。



©Shizuka Miyazaki/Tokyo University of the Arts

## はだしのゲン2

1986(昭和61)年 ゲンプロダクション 86分 カラー 35mm

監督/平田敏夫 原作/中沢啓治 製作協力/広島映画センター

声の出演/宮崎一成、島村佳江、甲田将樹、青山貴美

アニメーション『はだしのゲン』の続編。原爆が投下されてから3年後の広島。ゲンは病弱な母を助けながら、仲間の子どもたちとたくましく生きる。ゲンと母との絆、ゲンと仲間たちとの友情に焦点を合わせて描く。



©(有)ゲンプロダクション

■8/28(土)

①10:30～ ②14:00～ ③18:00～ (2作品・86分)

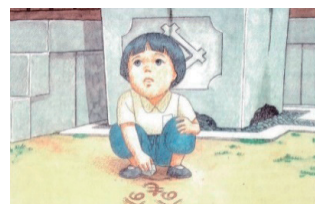
鑑賞料/大人510円、シニア(65歳以上)250円、高校生250円、小・中学生無料

## 太陽をなくした日

2002(平成14)年 スタジオみのる 19分 カラー 16mm

監督/前田 稔(広島在住アニメーション作家)

セミが鳴き、子どもたちの歓声が聞こえる。そんな日常を奪う原爆が広島に投下され…。広島出身の前田稔監督が描いたピース・アニメーション。



©スタジオみのる

## クロがいた夏

1990(平成2)年 ゲンプロダクション、中国放送 67分 カラー 35mm

監督/白土 武 原作/中沢啓治

声の出演/田口悦子、小刀将弘、中島ゆき、矢田耕司

伸子と誠のきょうだいは、カラスにおそわれていた子猫を助け、クロと名づけて育てる。が、8月6日の原爆は、クロの命も奪っていった。子どもたちと子猫のふれあいを通して、原爆の悲惨さを訴えるアニメーション。



■8/29(日)

①10:30～ ②14:00～ (2作品・95分)

鑑賞料/大人510円、シニア(65歳以上)250円、高校生250円、小・中学生無料

## アマイとサダコの祈り

2019(平成31)年 ANT-Hiroshima 8分 カラー DVD

監督/ファウジア・ミナラ

被爆10年後に白血病で亡くなった佐々木禎子さんの物語を、パキスタンのアーティスト、ファウジア・ミナラが色鮮やかなアニメーションで描く。  
(作品提供/ANT-Hiroshima)



## かっ飛ばせ!ドリーマーズ カーブ誕生物語

1994(平成6)年 広島映画センター 87分 カラー 35mm

監督/兼森義則(呉市出身) 原案/中沢啓治

声の出演/甲田将樹、小山裕香、風見しんご、相原 勇、衣笠祥雄

中沢啓治の漫画をもとに、カーブ誕生のエピソードを交えながら、広島の少年たちが草野球に打ち込んで、戦後をたくましく生きる姿を描く。



※当日の上映分数は、ここに掲載したものと多少異なる場合があります。※上映開始30分後からの入場はおことわりします。